

令和3年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：旭川地区
- 2 事例報告学校名：旭川市立知新小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 千葉 昌之
- 4 キーワード：地域と共に推進する 「温故知新」の活動

1 はじめに

本校は昭和45年に旭川市中心部の2校（中央小学校・大成小学校）の統合により創立された開校51年目の学校である。平成3年にも中心部1校（日新小学校）を統合し、現在は児童数238名に至る。

校名は「温故知新」（古い物事を究めて新しい知識や見識を拓くこと）に由来する。毎年行われている（コロナ禍前）実践研究発表会をはじめ、保護者・地域住民・大学生等による学校支援ボランティアの活動は、本校の特色となっている。また、PTAおよび地域の活動も活発に行われており、創意に満ちた諸活動は本校の教育を支える大きな基盤になっている。



大成地区夏祭りの様子



学校環境整備の様子

2 地域商店街・地域市民委員会との関わり

（平成期～「温故」の活動）

地域は「旭川の台所」と呼ばれる旭川銀座通り商店街を抱える地域で、商店街に関わる家庭も多く、学校と深いつながりがある。

10年以上続く活動がいくつかあり、中には20年以上も続く活動で、親子で体験したことのある方々もいる。以下の6点の活動は10年以上続く、地域との関わりが深い伝統的な活動である。

- ①大成地区ふれあいクリーン大作戦～全校児童・近隣高校生・保護者・地域住民で地域清掃を実施
- ②学校環境整備～3学年と地域住民で、学校周辺の花壇を整備。花苗は地域企業より提供
- ③大成地区市民委員会夏季ラジオ体操～夏季休業中の15日間、グラウンドでラジオ体操を実施
- ④大成地区夏祭り盆踊り大会～銀座商店街仲見世通りで盆踊り大会を実施
- ⑤大成地区夏祭り縁日～市民委員会が中心となり、本校体育館で夏祭り縁日を実施
- ⑥知新小お店探検（2年）・職場体験学習（6年）～2学年は生活科の学習として、6学年は総合的な学習の時間として、商店街を中心に体験活動を行っている。

盆踊りやラジオ体操はどの地域でも行われている活動であるが、大成地区の活動は大がかりなもので、ラジオ体操は参加人数が毎回150名程度である。また、各活動では地域住民から子どもへの指導も適切に行われており、地域住民の子どもたちへの思いや結び付きの強さを感じている。

3 知新小学校のコミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール開始の準備段階として、平成29年7月に「知新っ子支援ボランティア」を立ち上げた。学校と家庭・地域が連携・協力し、授業や学校生活における指導や支援体制を充実させるとともに、児童の安全確保・学習環境の整備など学校全体の質的向上を図った。毎年、保護者・地域住民約120名が子どもたちのために、学校支援ボランティア活動を行っている。

安全支援・校内学習支援・校外学習支援・図書館支援の4つのボランティア組織を編成し、市民委員会役員や学識経験者や元保護者、地域住民等から4名の代表者を選出した。4名とは、年に2回の「ボランティア代表者会議」を実施した。

安全支援ボランティア

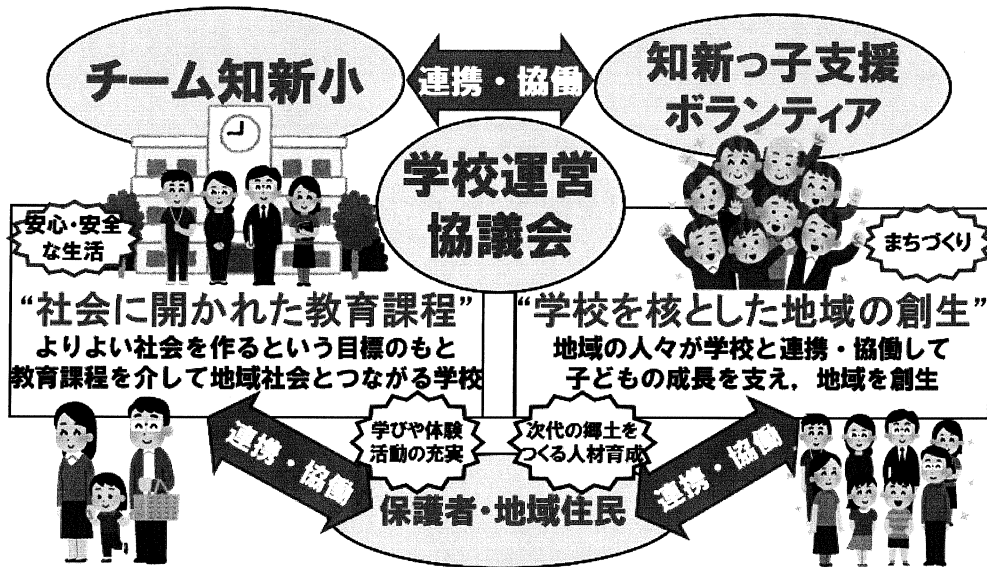
校内学習支援ボランティア

校外学習支援ボランティア

図書館支援ボランティア

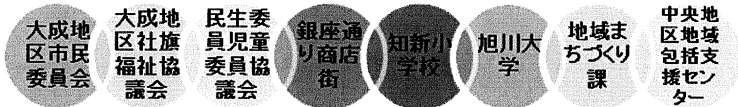
知新っ子支援ボランティア約120名

令和元年6月に学校評議員と知新っ子支援ボランティアを融合させ、知新小学校学校運営協議会準備委員会を立ち上げた。令和2年1月に学校運営協議会を設置し、知新小学校は正式にコミュニティ・スクールとなった。下記は、本校のコミュニティ・スクールのイメージ図である。



4 地域まちづくり推進協議会との関わり (令和期～「知新」の活動)

令和元年度になり、より地域とのつながりを強化していくために、地域まちづくり推進協議会との連携を図ることになった。市民委員会や商店街はもとより、各種関係機関や大学等と連携することとした。



令和元年12月に「知新っ子を見守る会」を発足させ、知新小学校の児童と高齢者を中心とした地域住民等による世代間の交流等を通じ、学習支援や交流等を実施するとともに、地域の安心安全に寄与する各種事業を展開することとなった。



児童へのマスク寄贈



アイスクャンドル
雪だるま作成

コロナ禍ながらも、令和2年度は3点の事業を展開した。

- [事業1 交通安全啓発運動～マスク寄贈 (令和2年12月25日実施)]
交通安全の啓発資料 (マスク・消毒ジェル添付) を児童会役員へ渡す。
- [事業2 第3回知新っ子冬を楽しむ会 (令和3年2月7日実施)]
アイスクャンドルや雪だるまを作成し、学校敷地内や商店街に設置する。
(過去2年は児童・保護者とともに「雪中運動会」を実施していた。)
- [事業3 学校医へのメッセージカード・感謝状贈呈 (令和3年2月実施)]



学校医への感謝状贈呈

児童・保護者・地域住民 (参加者約100名) が医療従事者 (学校医) への感謝の気持ちをメッセージカードに記入し、感謝状とともに本校の学校医6名に贈った。

5 おわりに

令和3年度当初の地域住民との会合の中で、「コロナ禍なので、活動は縮小するが継続させていく」「子どもたちとの直接的な交流は避ける」ということが確認された。コロナ禍においても地域との関わりを止めずに、感染症対策を講じながらも実施可能な活動を行っていくことが大切である。今後も古くからの活動を大切にしながらも、より新しい活動を展開させていきたいと考えている。